

報道発表

令和2年7月22日
名古屋税関
豊橋税関支署

令和2年6月分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

令和2年6月分について、輸出は「船舶類」などが増加したものの、「自動車」、「鉄鋼」などが減少したことから対前年同月比63.7%の減少となった。また、輸入は「植物性原材料」などが増加したものの、「自動車」、「果実」などが減少したことから、同67.3%の減少となった。

その結果、差引額は610億円（同62.5%の減少）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
三河港	793億円	▲63.7%	183億円	▲67.3%	610億円	▲62.5%
	12カ月連続の減少		2カ月連続の減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1)船舶類	29億円	+16.1%	輸入	増加品目	(1)植物性原材料	2億円	16倍	
		(2)金属鉱及びくず	4億円	+177.5%			(2)粗鉱物	3億円	+88.5%	
		(3)果実及び野菜	1億円	+116.0%			(3)建設用・鉱山用機械	2億円	+105.8%	
	減少品目	(1)自動車	711億円	▲65.6%		減少品目	(1)自動車	135億円	▲71.0%	
		(2)鉄鋼	16億円	▲41.5%			(2)果実	0億円	▲97.6%	
		(3)荷役機械	2億円	▲65.8%			(3)鉄鋼	13億円	▲56.8%	
	地域別動向		北米、西欧が減少、中南米は増加			地域別動向	西欧、中南米が減少、アフリカは増加			

（参考）ドルレートは、107.78円（前年同月比1.2%、1.27円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。